

謹賀新年



「誰もが自分らしく」

大和郡山市長

上田 清

郡山の春を彩るお城まつりは今年で第60回、同時開催の金魚品評会は何と第100回！さらにJR郡山駅が開業130年、JR大和小泉駅が開業100年などなど、東京オリンピック・パラリンピック2020にあわせるかのように丸い数字が並びます。

そうしたなかスタートするのが市役所新庁舎の建設事業で「大和郡山市らしさを感じられる庁舎」に向けて、職員一丸となって取り組みます。

郡山城の北側、県道城廻り線道路の立体交差化工事も年明けから本格化。京奈和自動車道大和北道路については、この夏、横田交差点の北で橋脚の建設が始まる予定とのこと。

県との間で包括協定を結び進める近鉄郡山駅周辺の整備については「城下町の風情を活かし、いきいき暮らせるまちづくり」をめざす基本構想に続いて基本計画をすでに策定。これに基づいてより具体的な事業化を進めていくこととなります。

同じく、協定を結んでいる昭和工業団地のまちづくりは企業力の強化、働き方の改善、働く環境の向上という基本方針のもと、公民協働で知恵やアイデアを結集したいと考えています。

一方、全国的にも大きな問題となっているのが空き家対策です。本市では昨年「空き家バンク」を開設するとともに、今月末には「今ある資産を活用し、再生してまちを元気にする手法のひとつ」「リノベーションスクール」を開催し、公民連携に若者をも巻き込んで、具体化を図っていこうと準備を進めているところです。

さて大和郡山市では男女共同参画の議論が多様な性への理解と支援のあり方に発展し、この4月県内で初めて『パートナーシップ宣誓制度』を導入、当事者を支援していくことになりました。

「誰もが自分らしく生きられるまち」に向けて、本年もよろしくお祈り申し上げます。



「新年を迎えて」

大和郡山市議会議員

乾 元徳

新年あけましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代の幕開けを感じる一年となりました。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。猛暑が心配される中ではありますが、多くの日本人選手の活躍が期待されます。夏の暑さに負けないくらいの熱い声援を送りたいと思います。

当市におきましては、昨年の12月議会から一般質問において一問一答方式を選択することができるようになり、より活発な意見交換が行えるようになりました。議会の様子もインターネット中継や、録画でもご覧いただけますので、是非とも皆様のご意見が反映できる議会運営のために、関心を持っていただければ願うところです。

昨今は自然災害による甚大な被害が多くなっており、このような災害時に一番大切なことは、地域の住民同士の連携ではないでしょうか。公助がすぐに行き渡らない初期段階において、災害弱者に対して助けの手を届けられる体制づくりを、日ごろから地域で考えていかなければなりません。我々議会としても尽力する所存ですが、市民の皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

また、災害時に防災拠点となるべき市役所の庁舎は、老朽化が進み、耐震性が問題となっていました。今年には新庁舎の建設が始まります。よりよい新庁舎になるよう議会としても力を尽くしてまいります。

今後も、市民の皆さまのより多くの声を聞きながら、市政運営に努力をしてまいります。

結びに、市民の皆様におかれましては、新しいこの一年が、幸多き年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。